

森の学校だより

富士山、福島、広島の3地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト vol.28

森羅万象

NPO法人オオタカ保護基金
代表 遠藤孝一さん

「人と自然が共存する
社会を目指して」

今回のゲスト

栃木県でオオタカ、サシバ、クマタカ等のワシ・タカ類保護のため様々な活動を展開しているオオタカ保護基金。その代表、遠藤孝一さんにお話を聞きました。



Profile

遠藤孝一(えんどう こういち)
1958年生まれ。学生時代、オオタカのヒナを密猟者から守る活動に参加。それをきっかけに、オオタカの調査や保護活動を開始。現在はオオタカ保護基金代表として、ワシ・タカ類の保護や、保護活動を通じた地域づくりなども展開中。



Q1. どうしてタカや鳥に興味を？

私自身、昔から人と自然との共存に関心がありました。人が生きていくためには、自然に手を加えなければなりません。ですので、人は自然と折り合いをつけながら、多様な生物が生きていける社会づくりや地域づくりが必要だと考えていました。ワシやタカは行動圏が広い鳥です。オオタカだと半径2キロ程の行動圏を持っています。オオタカを守るうとしたら、その広い単位で物事を考えなければなりません。彼らは食物連鎖の頂点にあり、その一種だけが保護されてもエサとなる他の生物がいないと生きてはいけません。そうした点で、オオタカの保護は人と自然の共存を考える際に非常に良い対象となります。オオタカが棲む行動圏には、農林業、工業、商業の行為がなされ、人も住んでいます。そうした人の営みの一方で保護を考えなければいけない対象です。そのことこそが、自分のやりたいことに近いと思っています。

Q2. 保護基金の活動概要は？

ワシやタカの仲間は、種類によって好む環境が異なります。オオタカはアカマツ林があるような里山、サシバだったら谷津田がある環境、クマタカだと山地の森林地帯を好み、その場の生態系の頂点に位置しています。私たちは、彼らをシンボルにして地域の生態系を守る活動や地域づくりをしているNPOです。そのためには相手がどんな生き物なのか分からないと対応できないので、調査や研究を大切にしています。その成果を踏まえて保護対策を立てて提案します。あるいは既に開発計画がある際には、開発の中で彼らの生息環境をどう残すべきかを提案します。また、一般の方々とともに森林整備や水田耕作を行いながら生息地を維持したり、子どもたちに自然体験活動を提供したりする中で、ワシ・タカ類との共存の大切さを普及する活動も続けています。



Q3. 今一番力を入れている活動は？

市貝町という栃木県東部にある町でサシバが棲む里づくりを力を入れています。サシバは田んぼや畑、雑木林などが残る里山環境を好みます。つまり、人の暮らしとつながりが深い環境で暮らしています。そこにはエサとなるカエルやヘビをはじめ、多様な生物が生息しています。そして、こうした里山の生物多様性は農林業の営みが続くことで維持されています。しかし、生物に負荷のかかる農地整備や耕作放棄地の増加などによって里山の生物多様性が低下し、サシバも減ってきているのです。これからは、自然とうまく折り合いをつけながら農業を継続できるかどうか重要になってきます。サシバをシンボルにして暮らすことができる素晴らしい環境をその町の誇りとして残したいものです。市貝町でのサシバが棲む里づくりは、私自身のテーマである人と自然の共存を実現する大切な舞台になっています。

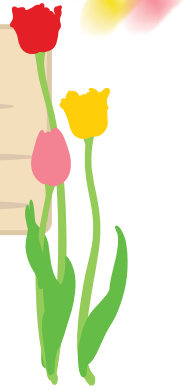


ろうきん森の学校全国事務局
NPO法人ホールアース研究所
〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL : 0544-66-0790
FAX : 0544-67-0567
E-mail : forest@wens.gr.jp
HP : http://wens.gr.jp

私にも出来る事



自然にやさしい
ストーリーが
あるものを選ぶ



「森にかかわる達人」

遠藤 孝一さんのお話は、まだまだ続きます！

Q4. 今後の展望は？

2014年春に完成予定の道の駅があります。そこを体験型の道の駅にできればと考えています。その横にある農地を体験農場として活用し、サシバが飛ぶのを見ながら農業体験をしてもらうことを模索しています。そして、サシバを大切にしたい地域づくりというストーリーの中で生産された農産物や加工品を買ってもらえる場所にしていきたいと考えています。こうした仕組みによって、そこで生活している人が「食べていける」ことにつながります。そうでないと人が地域から出て行ってしまいます。私は生物多様性の豊かな自然を残すことができる新たな仕組みを地域の人と一緒に作ってきたいのです。今までの自然保護活動は規制が中心でした。しかし、これからは自然を持続的に利用し、新たなサービスを提供したり、新たな仕組みを提案していくことが必要で、そこに我々の役割があると考えています。

Q5. 私達にできることは何でしょう？

持続的な農林業を通じて生産されたものを積極的に買ってもらうことです。買うときに選んで欲しいです。単に安いものが良いということではなく、自然にやさしい農法で作られた農産物を購入してもらえることで、自然が守られていきます。

遠藤さんオススメの書籍

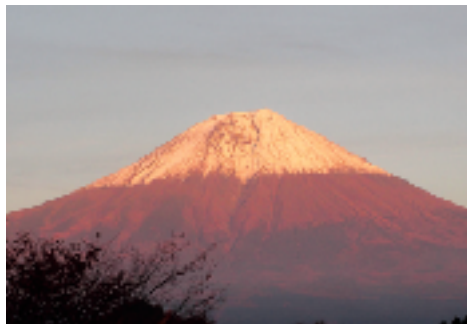
「捕食者なき世界」

ウィリアム ソウルゼンバーグ著

野中 香方子 訳

捕食者がいなくなったために

軋轢がおきたり、生態系が崩れたりするケースがあります。コレを読んだら捕食者がいる意味・価値が分かってもらえます。



2013年1月20日に、「富士山！カラダの学校～植物のチカラから寒い冬こそアロマで代謝アップ」に参加してきました。数日前の雪が残る田貫湖は凍っており、寒かったですが、快晴で富士山がきれいに見えました。

まず、田貫湖周辺で自然観察を行いました。田貫湖ふれあい自然塾のそばに自生しているクロモジ(黒文字)の枝の小片を噛んでみると、レモンのような柑橘系の香りがしました。講師の薬剤師の方によると、クロモジは抗菌効果があり、ほぐすと繊維が多く、江戸時代には歯ブラシとしても使われていたそうです。次に薬剤師の先生の指導のもとマッサージオイルを作りました。スタッフが他の場所であらかじめ採取してくださっていたクロモジの枝をはさみで細かく切り、マカダミアナッツ油に入れ湯煎し、香り成分を抽出すると爽やかな香りのオイルができました。そのオイルを使って、鍼灸整体士の方がハンドマッサージのデモンストレーションを行い、参加者同士でハンドマ

ッサージを行い、よい香りに包まれリラックスして過ごすことができました。



富士山地区
 柚野エリア

視覚と味覚を満たす春！
 空には桜と富士！地にはタケノコ



アイガモ農法

数年前から取り組んでいるアイガモ農法で、今年も田植えに合わせて小さなカモたちが田んぼに放されます。雑草や虫を食べてすくすく育てよ〜。☒



タケノコ

里山つなぎ隊で整備してきた竹林。春になると地面から新しいたけのこがよきよきと。今年は豊作かな〜。



富士山と桜

雪化粧を纏う富士山をバックに、山麓の柚野の里では春を告げるサクラが咲き乱れます。



FUJIMOCKFES

秋から始まった大人向けの木育プログラムであるFUJIMOCKFES(フジモックフェス)。様々なバックグラウンドを持った大人達120名が富士山と鎌倉に集いました。昨年秋の田貫湖エリアでの間伐体験と森のワークショップに続き、年明けから間伐した材を使った加工のワークショップが行われました。ノコギリで輪切りにしたものに、おもしろいデザインをレーザーカッターと呼ばれる加工機で彫り込み、1日のワークショップで個性豊かな時計や食器が完成しました！今頃、参加してくれた120人の大人たちの生活の中に森の学校サイトのヒノキが溶け込んでいるでしょう。

FUJIMOCKFES
<http://fujimock.wordpress.com/>



「植物のチカラ」寒い冬こそアロマで代謝アップ！

植物のチカラを健康に役立てるプログラム。年4回シリーズの最終回、今回の参加者は子どもから大人まで15名でした。まず、全員森で生き物探し。個性的な冬芽や、おもしろい形の繭、鳥の声に耳を傾けたり。冬、木々が葉を落としたさみしい森でも、様々な発見がありました。今回は、中でも特に良い香りを放つクロモジの枝を使って、浸出油作りです。できたオイルで、マッサージ師さんの指導を受けながらハンドマッサージをすると、良い香りの中とてもゆったりした時間が流れました。薬剤師さんから成分の効果聞きながら、クロモジのチカラをいっぱい楽しみました。

活動予定



「自然学校講座
 ～森とくらしのコース～」

日時：2013年4月～2014年3月の第4土日
 (計11回 12月を除く)
 場所：富士山周辺の森、築150年の古民家
 (静岡県富士宮市)
 対象者：18歳以上の健康な男女
 参加費：120,000円

伝統構法の大工の棟梁と一緒に
 行う古民家再生。今年はヒノキ風呂づくりを行います。森のこと、暮らしのことを体感する1年です

福島地区

湯ノ岳エリア

車で気軽に山頂近くまで 満開のヤマナシは必見です!

芝山自然公園

湯ノ岳山荘から車で約40分のところに芝山自然公園は、いわき市と平田村、古殿町との境界に位置する芝山(標高819m)を中心とした公園です。山頂近くまで車で行くことができ、春～秋と楽しめ、自然観察のフィールドとして多くの人々に利用されています。

頂上付近、猿子平付近に自生するヤマナシの花期は必見です。ブナ、ミズナラその他シラカシ林も観察できます。また、国道49号線から芝山へ入る県道20号線にある綿津海(わたつみ)神社の春はカタクリ、ニリンソウの群生も必見です。



カタクリ



ニリンソウ



ヤマナシ



自然観察会& ソバ打ち体験

2012年12月14日に、自然観察会とソバ打ち体験を行いました。自然観察会はボーイスカウトの参加があったので、2班に分かれて実施しました。冬芽の観察など冬の里山の観察の仕方を中心に体験してもらいました。ソバ打ち体験は、今年収穫した新ソバを皆で味わうため、講師2名の指導の下で5名が参加して行いました。料理体験は、できるだけ多くの方に体験してもらうこととし、ソバがき作りと天ぷら揚げを担当してもらいました。



自然観察会&花炭作り

2013年1月20日に、自然観察会と花炭作りを行いました。自然観察会は、湯ノ岳山荘周辺の観察コース①沿いにある樹名板の確認を、補修を兼ねて行いました。同時に、花炭の材料調達も行いました。花炭作りは、一般参加者に適切に指導するためにどうしたら良いかということ念頭において実施してもらいました。出来上がった花炭は、元の形がきれいに残っており、うまくなりました。☒

活動予定



「自然観察会」
日時:4月21日(日)9:00?12:00
場所:湯ノ岳山荘
対象者:誰でも
参加費:500円

湯ノ岳山荘周辺の春の自然観察会を行いながら山野草の勉強会を行います。山野草のなかでも安全に食べられるものを採取野外料理の材料にします。

広島地区

春香る野草の花々!目で楽しみ 美味しく食する事も可能です。



シュンラン(春蘭)・ラン科
山地林縁の日当たりの良い乾いた場所に多く見られる常緑の多年草。萼片は帯黄緑色、唇弁は白色で濃赤紫色の斑が入る。花は塩漬け(蘭茶)、天ぷらや酢のものに。



オキナグサ(翁草)・キンボウゲ科
日当たりの良い草地に生える夏緑性の多年草。花後に花柱が羽毛状に長く伸びた様子を老人の白髪にたとえたもの。萼片の内面が紫赤色で下向きの釣鐘形の花を開く。

シハイスミレ(紫背蕁)・スミレ科
日当たりの良い山地の林床に生える夏緑性の多年草。葉裏が紫色をしていることから名づけられた。花は淡紅紫色～濃紅紫色。遊歩道沿いでよく見られる。

森のカフェ～早春編～

2月17日(日)に森のカフェ～早春編～を開催しました。この日の気温は最低気温マイナス4度、最高気温でも4度とまだまだ寒い日が続く森の学校ですが、今年は例年に比べ雪は見られず、春のおとずれが早いのではないかと感じられます。今回のテーマは「ダッチオープン料理」。20代を中心に10数名の参加者のほとんどが森の学校参加ということもあり、新鮮な1日となりました。ダッチオープン3個を使って、ピビンバや豚肉のコーラ煮などをじっくりと時間をかけて作りました。料理中には、世間話から始まりお互いの意見交換など、終始和やかな雰囲気では進み、最後のふりかえりでは「また来たい」という声が沢山聞かれました。



平日作業隊

広島地区の平日作業隊は毎週木曜日に開催されています。毎回参加者は数人と少人数ですが、森の学校のフィールド整備、施設の補修、動植物調査など、年間を通じて活動をしており、広島地区のたいへん貴重な戦力です。春が近づくに連れ、活動も次第に活発になってきており、最近では、フィールド内にある平坦な場所を活動用に整備する作業や、鳥の巣箱設置、しいたけの植菌、カエルの卵塊調査などを中心に活動を行なっています。この平日作業隊はどなたでも参加いただけますので、興味のある方は是非活動に加わっていただき、ご自身の健康増進と里山の健康維持のために活動いただければと思います。

活動予定



「ファミリーキャンプ～初めてのキャンプ～」

日時:2013年6月8日(土)～6月9日(日)<1泊2日>

場所:ろうきん森の学校

対象者:親子10組(子どもは小学生以上)

参加費:一人6,000円

家族でキャンプをしてみたいけどこれまで経験がないのでなかなか一歩を踏み出せないーそんな家族のためのキャンプです。テントや寝袋、野外料理の道具など、キャンプに必要な道具類は主催者で準備するため一切不要。車で現地に集合していただければ、専門のスタッフが道具の使い方や森での遊びなど、懇切丁寧に教えてくれます。

富士山地区

- 柚野エリア
- 田貫湖エリア
- 御殿場エリア

福島地区

- 湯ノ岳エリア
- 岩出・好間・藤原エリア

広島地区

※ 毎週木曜日は平日作業隊を実施しています。初めて参加される方は、お問い合わせください。

| | | | |
|--|--|--|---|
| 3月 | <p>日程 3月2日 内容 竹林整備作業 対象 18歳以上の男女 費用 2,000円</p> <p>日程 3月9日 内容 フィールド吹矢 対象 小学生以上 費用 1,000円</p> <p>日程 3月9日～10日 内容 野草摘みと野草クッキング、里山ウォーク他 対象 未就学児(3～6歳)とその保護者 費用 大人13,000円、子ども9,000円</p> | <p>日程 3月17日(日) 内容 自然観察会、森の手入、野外料理 対象 どなたでも参加できます 費用 500円</p> <p>定例作業 (誰でも参加できます。当日9時、現地集合) ■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備 ■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業 ■ 第1、第3日曜日…調査 ■ 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会</p> | <p>日程 3月25日(月)～27日(水) 内容 プレリーダー養成コースキャンプ 対象 高校生・大学生・大人 費用 6,000円区</p> <p>日程 毎週木曜日 内容 平日作業隊 対象 誰でも 費用 無料区</p> |
| | <p>日程 4月20日～21日 内容 柚野散策、古民家を知る 対象 18歳以上の男女 費用 120,000円(通年)</p> <p>日程 4月21日 内容 タケノコ掘りとタケノコ料理 対象 満3歳以上 費用 大人3,500円、子ども2,500円</p> <p>日程 4月28日 内容 ヨモギ茶・草餅づくり 対象 小学生以上 費用 3,000円</p> | <p>日程 4月21日(日) 内容 自然観察会、山野草勉強会、野外料理 対象 どなたでも参加できます 費用 500円</p> <p>定例作業 (誰でも参加できます。当日9時、現地集合) ■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備 ■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業 ■ 第1、第3日曜日…調査 ■ 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会</p> | <p>日程 4月27日(土) 内容 森のカフェ 対象 誰でも 費用 2,000円</p> <p>日程 毎週木曜日 内容 平日作業隊 対象 誰でも 費用 無料区</p> |
| | <p>日程 5月18日～19日 内容 田植え、どろんこ運動会、アイガモ放し 対象 未就学児(3～6歳)とその保護者 費用 大人13,000円、子ども9,000円</p> <p>日程 5月25日～26日 内容 竹林整備作業 対象 18歳以上の男女 費用 2,000円</p> <p>日程 5月25日～26日 内容 人工林での間伐体験 対象 18歳以上の男女 費用 120,000円(通年)</p> | <p>日程 5月19日(日) 内容 自然観察会、森林療法体験、野外料理 対象 どなたでも参加できます 費用 500円</p> <p>定例作業 (誰でも参加できます。当日9時、現地集合) ■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備 ■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業 ■ 第1、第3日曜日…調査 ■ 第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会</p> | <p>日程 5月25日(土) 内容 森の妖精クラブ 対象 未就学児と保護者 費用 大人2,500円、幼児1,500円</p> <p>日程 5月26日(日) 内容 環境保全家族ふれあい体験活動 対象 公募なし 費用 無料</p> |
| <p>Information: NPO法人ホールアース研究所 〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165 TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567 E-mail: forest@wens.gr.jp HP: http://wens.gr.jp</p> <p>Access: 電車: JR身延線「富士宮駅」よりタクシー15分 車: 東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分</p>  | <p>Information: NPO法人いわきの森に親しむ会 〒970-8326 いわき市常磐藤原町湯の岳2湯ノ岳山荘内区 TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273 E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp HP: http://www16.plala.or.jp/goan/</p> <p>Access: 電車: JR常磐線「いわき湯ノ岳駅」よりタクシー15分 車: 常磐自動車道いわき湯ノ岳I.C.より10分</p>  | <p>Information: NPO法人ひろしま自然学校 〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207 TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863 E-mail: nkk2002@mac.com HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access</p> <p>Access: 電車: JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分 車: 広島自動車道広島北I.C.より20分</p>  | |

樹になる話



花粉症の季節

国民病とも呼ばれるスギ等の花粉症。前年の夏の天候に影響を受けるといわれる花粉の飛散量、残念ながら今年は昨年より多い地域がほとんどか。患者にされがちなスギ・ヒノキですが、戦後復興の木材需要を見越して人が大量に植えられたもの。特にスギは日本特産の樹木で、その広く利用されてきました。積極的に使うことで花粉の少ないスギや他の樹種への転換につなげたいものです。

ろうきん森の学校は...

日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO法人ホールアース研究所が主管で行う、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島の全国3地区で同時展開しています。